

あつべつ

なんでも

イチバン

情報技術の研究開発拠点
札幌テクノパーク

もみじ台東側緑地を流れるボンノツボ口川に架けられた、ユニークなアーチ型の橋「ボンノツボ口橋」。この橋を渡ったところに、豊かな自然に囲まれた、情報関連の研究開発型産業団地「札幌テクノパーク」があります。

情報化社会に向けた研究開発の拠点都市を目指し、市では、昭和六十年からテクノパークの造成と、その中核施設「札幌市エレクトロニクスセンター」の建設を進めました。現在は、札幌テクノパーク専門学校や約五十の企業などが入居しており、インターネットや携帯電話で使われている機能など生活に身近な皆さんの技術が開発されています。各施設では研究開発を主な業務とするため、実際に足を踏み入れる機会は少ないかもしれませんが、毎年九月には、各企業の展示やセミナーなどが行われるテクノパークフェスタが開催されています。

テクノパーク内には、斬新で個性的なデザインの建物が多く、(株)ビー・ユー・ジーとウエルネット(株)の社屋「LINK」は、第四回札幌市都市景観賞を受賞しています。また、一般公開はされていませんが、(株)ビー・ユー・

ジーの社屋内には、彫刻家のイサム・ノグチ氏の彫刻が置かれており、同社の紹介で、イサム・ノグチ氏が、モエリ沼公園の設計に携わることになったそうです。

研究開発型産業団地として、全国的にも先駆けとなった「札幌テクノパーク」。情報技術の発展で、ますます便利になっていく生活の中に、ここで生まれた技術が生かされています。

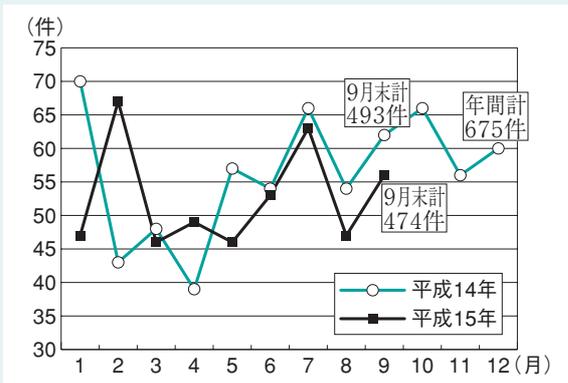


(上)ウエルネット(株)社屋
(左上)イサム・ノグチ氏作
「THE OMPHALOS」(オンファロス)
(左) (株)ビー・ユー・ジー社屋
隣りあった両社屋を合わせて「LINK」と呼ばれています

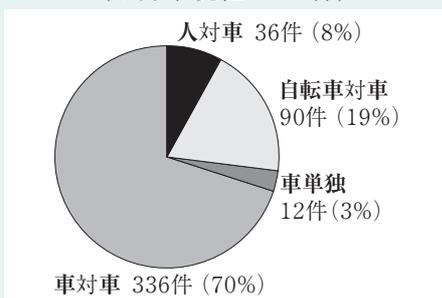


区役所掲示板

区内交通事故発生状況



事故類型別発生状況 (9月末現在：474件)



「事故に遭わない
安全な毎日を」

「夜間には次のことに
気をつけましょう」



■ 明るい服装、夜光反射材を利用する

車からは、明るい色のほうが、黒っぽい色より10%以上も見えやすく、反射材はさらに効果的。

■ 横断歩道を利用し、右・左折車に注意する

横断歩道以外からの横断や、右・左折車のライトの死角に入ると見落とされやすい。

■ 運転者の皆さんへ

自分の存在を歩行者に知らせるため、デイ・ライト(昼間点灯)と早めの点灯を心掛け、スピードダウン。

区内の交通事故の発生件数は、前年に比べ、やや減少していますが、今年の一月から九月までで、四百七十四件。歩行者や自転車利用者の事故も少なくありません。日暮れが早くなるこれからの季節は、夜間の事故や高齢者の事故も増加する傾向にあります。決して人ごとと考えずに、歩行者も運転者も、しっかりと安全確認を行い安心した毎日を送りましょう。

厚別区交通安全運動推進委員会
☎(895)2473